国際ロータリー第 2550 地区

黒 磯 ロ ー タ リ ー ク ラ ブ 会 報

国際ロータリー会長：バリー・ラシン
第 2550 地区ガバナー：　伊東 永峯
事務所：〒325-0826 宇都宮市西原町 142
宇都宮グランドホテル内
TEL：028-651-2550
FAX：028-651-2551
E-mail: m2550@agate.plala.or.jp

インスピレーションになろう

会　長：村山　茂　　幹　事：植竹　一裕
事務局：(株)植竹虎太商店内 植竹　一裕
〒325-0056　那須塩原市本町 6-5
TEL:0287-62-1123・FAX:0287-63-9228
E-mail: k.uetake@coral.plala.or.jp
例　会：国民の祝日を含まない週の水曜日
12:30 - 13:30
割烹石山　那須塩原市本町 5-5

第2843回　村山年度　第26回　　会報　2019 3-13　　司会　秋葉秀樹君

お客様

- 日本赤十字社　栃木県支部
  事務理事長　入野好市様

- 栃木県赤十字友好会　監事　岡川光祐様

- 日本赤十字社　栃木県支部
  組織振興課長　堀野京子様

会長挨拶　村山茂会長

皆様、今日は。3月も中旬を迎え、卒業式や受験の合否発表など新しい門出を迎える季節となってまいりました。一方で、皆様もご存じの通り那須塩原市長の君島　寛様がご逝去されました。黒磯クラブでの卓話もいただいております。心からご冥福をお祈りいたします。

さて、本日は私の仕事関連で、道路交通法と道路運送車両法の改正案が閣議決定されたということで、少しお話しさせていただきます最初に「道路交通法」とは、道路における危険を防止し、その他交通の安全と円滑を図ための法律です。速度制限や駐停車制限、シートベルト着用などの根拠になる法律です。そして「道路運送車両法」は、自動車等の安全基準を定める法律です。車両登録、リコール、排気ガス規制や整備振興の根拠となる法律です。

今回画期的なのは、公道で自動運転車両(ただし、レベル3)が走行可能になる法整備がなされるということです。レベル3というのは、「すべての運転を自動化するが、緊急時は運転手が操作する。」ということで、無人ではありませんが、一応、すべての運転が自動化された車両が、公道を走行できる法的な環境が整備されることになる訳です。ですから、その条件を満たした車両であれば、車

出席報告　出席委員会　****君　　（出席規定の免除会員数7名）

例会日	会員数	出席数	欠席数	出席率	MU 数	修正出席率
本日　3月13日	37（7）	30（5）	7（2）	85.7%		
前回　3月 6日	37（7）	28（4）	9（3）	82.3%	3	91.1%

欠席の場合は当日 9 時 30 分までに次のいずれかにご連絡を。電話 62-0128、FAX62-1076　（以上石山桂子）
メール　qqvn2bz9k@sound.ocn.ne.jp

載テレビでニュースを見たり、スマートフォンを手にもって通話やメールのやり取りをしても差し支えありません。ただ、運転者の安全運転義務はこれまで同様に課されますので、飲酒は禁止。飲食や読書はグレーゾーンになるそうです。事故発生時は、操作ミスなのか、システムの不具合なのか調べる必要があります。改正案では車両に備えた装置で作動状態を記録し、データを保存することが義務付けられるそうです。自動車のブラックボックスですね。

また、現在の道路運送車両法は、自動運転を想定していないため、車両整備やリコールなどでその仕組みを改める必要がありました。代表例がソフトウエアの配信による自動車の性能変更。レベル3の自動運転車両は、制御はコンピューターというかAI（人工知能）が行いますので、車の形をしたロボットです。ですから、配信内容の安全性を事前にチェックする仕組みの創設が盛り込まれるそうです。そして、自動運転車両の走行を認める道路環境や制限速度といった条件を車種ごとに設定するそうです。どこでも走れる訳にはまいらないようです。

自動運転の普及は、人の運転ミスによる事故を抑制でき、我々タクシー業界の悩みの種である、運転手不足の解消の可能性もございます。政府は2020年をめどに「レベル3」と呼ばれる技術の実用化を目指していますが、大いに期待しているところです。使える車両が出来たら真っ先に導入したいと思っておりますので、その節は皆様を真っ先にご招待させていただきます。ご清聴ありがとうございました。

幹事報告　植竹一裕幹事

村山年度第13回理事・役員会報告

- 4月度スケジュールの件
  地区協議会が5月12日の開催が決定したため、4月24日のクラブ協議会を5月22日ロータリー情報委員会の卓話と入れ替える事で承認。
- 那須塩原市に対する消防自動車払い下げの件
  消防自動車をタイ国へ寄贈する為の払い下げ申請として承認　詳細は後日。
- 観桜会内容の件
  点鐘18:00 演奏会終了後の食事会とする事で承認。親睦委員会主催の夜間例会の決算報告は、観桜会終了後一括で報告する事で承認。
- 社会奉仕・青少年奉仕委員会合同の足尾植樹の件
  4月27日に黒磯高校インターアクトクラブと合同で参加する事で承認。詳細は後日

村山年度第26回幹事報告

- 4月27日に開催されます、足尾植樹の出欠表を回覧しております。奮ってご参加下さい。集合場所等は改めてご連絡致します。
- 黒磯高校インターアクトクラブ海外研修費の請求が届きました。安藤青少年奉仕委員長にお渡ししました。
- 西那須野RCより会報が届いております。回覧しております。

委員会報告　大島三千三副会長

皆様こんにちは、委員会報告を受け付けますので、報告のある委員会は報告願います。

- **ゴルフ愛好会**
  髙木慶一君

村山年度第2回大会を3月17日（日）那須黒羽ゴルフクラブで開催します。参加申し込みされている方は8:40迄にご集合して下さい。

- **会計**
  委員　前田貴裕君

会計から3月分の口座引落の連絡がございます。3月の20日に栃木銀行から引き落しをさせて頂きま

す。内訳につきましては新年会の会費、参加者1名につきまして4,000円、2月6日の合同例会の会費3,400円、記念行事準備積立金10,000円それぞれ引き落としをさせて頂きますので宜しくお願いします。

● **社会奉仕委員会　委員長　藤﨑善隆君**

青少年奉仕委員会・社会奉仕委員会からのご報告です。恒例の足尾植樹でございますが、本年は4月27日土曜日に開催されます。時間は9時～12時までとなっております。本日より出欠表を回覧させて頂いておりますので、出欠をご記入下さい。例年通りバスを用意致しますので、ご利用の有無を、また終了後に場所は未定ですがインターアクトの方と懇親慰労会を予定しておりますので、その出欠の有無も併せてご記入下さい。

ニコニコボックス　前田貴裕君

藤 﨑 善 隆 君	日本赤十字の皆様ようこそ黒磯クラブへ。
安 藤 譲 治 君	誕生祝い有難うございました。
髙　木　慶　一	ゴルフ愛好会、今年第1回の大会、参加御礼。

お客様挨拶

● **日本赤十字社　栃木県支部**
事務理事長　入野好市様

皆さん今日は、堀野の説明の前に、わたくし日本赤十字社栃木県支部、事務理事長、入野好市からご挨拶させて頂きます。本日は黒磯ロータリークラブの貴重な卓話の時間を頂戴いたしまして誠に有難うございます。

日赤を作ったのは佐野常民という佐賀県の人ですが那須野が原にも佐野常民の開拓碑がございまして、那須塩原市とつながりのある、日赤の話をさせて頂けることを有難く思っております。

皆様、日赤は名前はご存知と思いますが実際に何をしているのか、知らない方もおられると思います。また、日赤に対して既に多大なるご支援ご協力をされている方もおられると思います。日赤としましては、ご協力頂いている方に本来、直接感謝の言葉を伝えたり、活動報告をしなければならないのですが、なかなか機会を持てません。これから出来るだけ多くの方に説明できる機会を作っていきたいと思っているところです。

本日は皆様の日頃のご支援ご協力に対して感謝申し上げるとともに、是非、日赤の活動状況をご理解賜りまして、現在、災害が多発している状況でございます。更なるご支援ご協力をお願い申し上げましてご挨拶とさせて頂きます。

卓話　　社会奉仕委員会
委員長　藤﨑善隆君

社会奉仕委員長の藤﨑です。本日はSAAの卓話の時間を頂き、日本赤十字さまよりの卓話を頂戴することとなりました。ご承知の通り、赤十字社さまでは災害救護や防災・減災活動を主な事業として活動されておりますが、近年はその災害も頻発化・甚大化が著しくなる一方であります。先日11日には東日本大震災より丸八年となりましたが、昨年を振り返っただけでも大阪北部地震、西日本豪雨災害、北海道胆振東部地震など枚挙に暇がありません。

こうした状況を踏まえ、日本赤十字社より三名のお客さまをお迎えし、日本赤十字社栃木県支部組織振興課長、堀野京子さまに「赤十字の活動と赤十字活動資金」と題してお話し頂きます。昨年、当クラブでも西日本豪雨災害の対応の仕方について大変悩ましい思いを致しましたが、今後の災害支援等についても参考にさせて頂ければと思います。

卓話　赤十字の活動と赤十字活動資金について

日本赤十字社　栃木県支部
組織振興課長　堀野京子様

赤十字の活動と赤十字活動資金について

日本赤十字社
栃木県支部　組織振興課

1

- 「赤十字」、名前はみんな知っている
  「日本赤十字社」の認知度　99.6%
- 「赤十字」が何なのか、何をしているかは、あまり良く知られていない・・・
  - イメージ　⇒　献血、病院、人道・・・
  - 国の機関？外郭団体？

？　？

（参考）
「赤い羽根共同募金」は、
別な団体の取り組みです。

4

始めに　赤十字誕生までの歴史について

1859年6月
イタリア統一戦争　ソルフェリーノの戦い
（イタリア北部）
サルディニア・フランス連合（15万人）と
オーストリア軍（17万人）
…両軍で死傷者4万人

自身の事業の関係で通りかかった
アンリー・デュナンは、
町の人々とともに、どちらの兵士も区別なく
献身的な救護にあたった。

→　「戦場において差別なく人の命を守る」
　　という赤十字思想の誕生

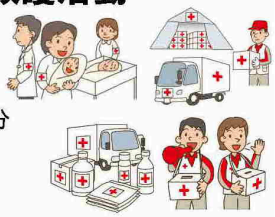
【1863年10月　国際赤十字組織の誕生】

2

【赤十字の中心となる活動】

国内災害救護活動

- 医療救護
- こころのケア
- 救援物資の備蓄と配分
- 血液製剤の供給
- 義援金の受付と配分



発災後、人々のいのちを守り、
苦痛を軽減することに貢献しています

5

日本赤十字社の誕生

1877年１月（明治10年）
西南戦争（田原坂の戦い）…悲惨な戦闘
佐野常民と大給 恒の二人は、
赤十字のような「敵・味方なく救護する団体」を
日本にも作れないか奔走した。
1877年5月（明治10年）博愛社創設
1887年5月（明治20年）日本赤十字社に改称（国際赤十字の仲間入り）

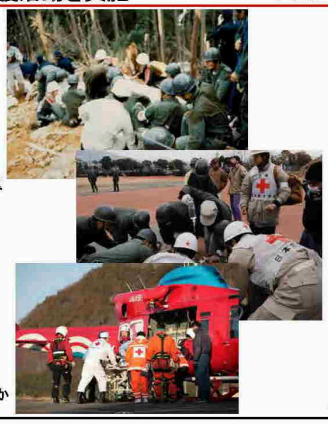
佐野常民

大給 恒

3

様々な災害・事故で救護活動を実施

1888年　福島県磐梯山噴火災害
1923年　関東大震災
1959年　伊勢湾台風
1985年　日航機墜落事故
1986年　茂木町水害
1990年　壬生町竜巻災害
1991年　雲仙普賢岳噴火災害
1995年　阪神・淡路大震災
1998年　栃木県北部・那須町水害
2003年　黒磯ブリヂストン工場火災
2004年　新潟県中越地震
2011年　東日本大震災
2012年　栃木県竜巻災害
2014年　御嶽山噴火災害
2015年　口永良部島噴火災害
2015年　関東・東北豪雨災害
2016年　熊本地震
2017年　那須町雪崩事故
2017年　九州北部豪雨災害
2018年　大阪府北部地震
2018年　西日本豪雨災害
2018年　北海道胆振東部地震　ほか



6

活動資金（寄付）の主な使途

皆様からお寄せいただいた活動資金（寄付）は、被災された方々の「いのちと健康を守る」救護班の派遣（医療・医薬品の無償提供）や救援物資を整備に活用されています。

【平成30年7月西日本豪雨災害】	【北海道胆振東部地震】
●医療チーム派遣数→**106班** ●こころのケアチーム派遣数→**34班** ※芳賀日赤・栃木県支部のチームも派遣 ●毛布などの救援物資配布数 →**約14,128点**	●医療チーム派遣数→**65班** ※那須日赤・栃木県支部のチームも派遣 ●こころのケアチーム派遣数→**20班** ※足利日赤のチームも派遣 ●毛布などの救援物資配布数 →**約3,874点**

7

赤十字活動は、皆さまからいただいた活動資金に支えられています。

■災害救護活動
災害発生時の迅速な医療救護や救援物資の配布。

■国際救援活動
世界中の紛争や災害の被災者を支援。

■青少年赤十字
学校を通じて、命と健康を大切にする意識や思いやりの心を育成。

★医療事業
地域に根差した医療の実施。災害などに備えて医師、看護師を訓練。

■看護師等の養成
医療や災害救護にあたる看護師などを養成。

■救急法等講習
とっさの時の手当や病気・けがの予防などの講習を実施。

■赤十字ボランティア
赤十字活動を支えるボランティアの養成。

★血液事業
命を守る血液製剤の供給や献血の推進。

※各種事業予算等については、チラシをご参照願います。

11

栃木県内での災害救護活動の様子

平成27年9月　関東・東北豪雨災害
・栃木市内3カ所の避難所での巡回診療を実施。
・県内11市町に救援物資を配布。
（毛布999枚、緊急セット463個、安眠セット175組、布団セット172組を配布）

巡回した避難所　栃木市立藤岡第二中学校（72名避難）
栃木市老人福祉センター長寿園（61名避難）
栃木市藤岡公民館（6名避難）

8

【近年、力を入れている活動】

日本赤十字社の防災・減災活動

地域に住む一人ひとりの「自助」「共助」の力を高める為、防災セミナー等を実施。

開催実績

平成28年度	平成29年度	平成30年度
・宇都宮市 ・上三川町	・足利市2回 ・壬生町 ・上三川町	・矢板市 ・壬生町 ・野木町 ・宇都宮市

※県内の小・中・高「601校」に防災教育教材も配布

12

活動資金（寄付）で整備されているもの

※救援物資は災害時に加え、火災などの際にも配布しています。

毛布

緊急セット

安眠セット

布団セット

救急車

9

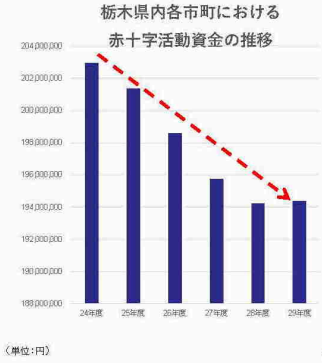
赤十字への寄付の現状

災害の大規模化や頻発化、少子高齢社会の進行など赤十字活動のニーズが増加しています。

その一方で、活動資金（寄付）が**非常に減少**しています。

赤十字は、**国や県の補助に頼ることなく、活動資金（寄付）を唯一の財源**としております。

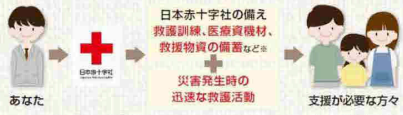
救うことを続けるため、皆様からのご支援をお待ちしております。



13

赤十字活動資金とは

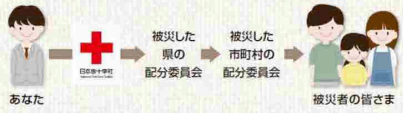
災害救護活動をはじめとした
日本赤十字社の様々な活動に使われます。



※赤十字の活動を支えるボランティアの養成、青少年への教育、救急法や幼児安全法の講習、海外での救援、開発協力などにも使用されます。

義援金とは

ご寄付の全額を被災された皆さまにお届けします。



義援金が日本赤十字社の事業費や人件費などに使われることは、一切ありません。
義援金にかかる事務経費についても、活動資金でまかなわれています。

10

ご協力いただける場合の流れ

皆様

1 ご寄付 ※

銀行等

2 入金通知

※今回配布の振込用紙をお使いください。

日本赤十字社

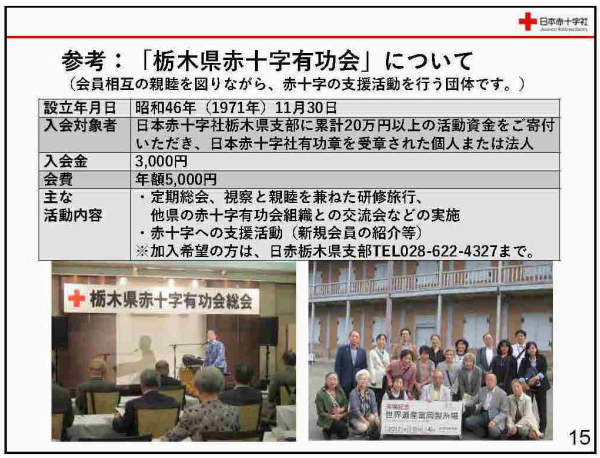
3 税制優遇措置に必要な領収書の送付☆

4 該当者に表彰伝達式（5月・11月）のご案内☆

☆税制優遇措置や表彰については、チラシをご参照願います。

【気軽にお問い合わせください！】
担　当　日本赤十字社栃木県支部　組織振興課　堀野・須藤
電　話　028-622-4327　FAX　028-624-494
メール　soshikishinkou@tochigi.jrc.or.jp

14



3月13日欠席（敬称略）
荒井昌一・秋間忍・大森貞男・小野安正
吉光寺政雄・豊田哲司・戸野秀介

前回 3月 6日分メークアップ（敬称略）
安藤譲治・相馬征志・平山博

次回例会　平成31年3月27日　担当　社会奉仕委員会

近隣クラブ例会日
- ○ 火曜日　西那須野/いとう屋　0287-36-0028
- ○ 水曜日　塩原/塩原カントリークラブ　0287-35-2211
- ○ 木曜日　大田原中央/勝田屋記念会館　0287-23-4165

近隣クラブ例会日
- ○ 木曜日　大田原/ホテル龍城苑　0287-24-2525
- ○ 木曜日　那須/ホテルエピナール那須　0287-78-6000
- ○ 金曜日　黒羽/ホテル花月　0287-54-1105

会報委員会：稲垣政一・和気勝利・秋間 忍・藤崎善隆